

「はたらき」を化学する

三洋化成株主見学会

# 化学のちからで 化学の枠を越える。

三洋化成  
代表取締役社長  
樋口 章憲



# 1. 三洋化成の概要



# 1-1. 三洋化成の概要

# 三洋化成の概要



創	立	: 1949年（昭和24年）11月1日
本	社	: 京都市東山区
資	本	金 : 13,051百万円
事	業	拠 点 : 日本、米国、中国、韓国、台湾、タイ、マレーシア
グ	ル	ー プ : 国内5社、海外9社、物流・サービス2社
従	業	員 数 : 連結 2,106名 [2022年12月31日現在]
事	業	内 容 : 約3,000種類のパフォーマンス・ケミカルス (機能化学品) の製造・販売

# 三洋化成の起源



1907年 多田石鹼油脂製造所創立



京都にある広大な茶畑を切り拓き石鹼工場を建設  
(現在の三洋化成京都工場辺り)

当時の国産石鹼は品質が悪く、舶来品並みの  
高品質な石鹼をつくりたいという想い



石鹼製造技術 = 界面活性剤（有機）合成技術

石鹼事業から繊維処理剤等へと事業を展開し、研究開発・技術開発力に  
優れた会社へ

**100年以上にわたり培ってきた研究開発力、  
界面制御技術の深耕こそが、三洋化成の利益の源泉**

# 三洋化成の創立



1943年 三洋油脂（株）創立

\*三井物産(75%),東洋レーヨン(25%)出資



1949年 三洋油脂工業（株）創立  
(1963年、三洋化成工業（株）へ社名変更)

会社設立時の株主総会 (S24.11)

◇1978年東証1部、大証1部に上場

◇2022年東証プライム市場へ移行

**社会ニーズに化学（界面制御）技術で応えつづけ  
現在では、3,000種類に及ぶ製品を製造販売**

# 三洋化成の本社および研究所



本社・本社研究所（京都市東山区）



研究第2棟（同、東山区）



桂研究所（同、西京区）

# 国内生産拠点



京都工場・本社・研究所  
(東山区、約2.6万m<sup>2</sup>)



鹿島工場  
(茨城県神栖市、約13.0万m<sup>2</sup>)



名古屋工場  
(愛知県東海市、約10.0万m<sup>2</sup>)



衣浦工場  
(愛知県半田市、約14.0万m<sup>2</sup>)





サンケミカル 川崎工場  
(神奈川県川崎市、約1.1万m<sup>2</sup>)






# 海外生産拠点

 三洋化成精細化学品（南通）有限公司

 三大雅精細化学品（南通）有限公司



 韓国三洋化成製造株式会社




 Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.

 SDP GLOBAL(MALAYSIA)SDN.BHD.

 Sanyo Chemical Texas Industries, LLC

# 海外營業拠点



 三洋化成(上海)貿易有限公司  
San Nopco (Shanghai) Trading Co., Ltd.  
DaXiang International Trading (Shanghai) Co., Ltd.



 韓国三洋化成株式会社  
San Nopco (Korea) Limited

 Sanyo Chemical America Inc.

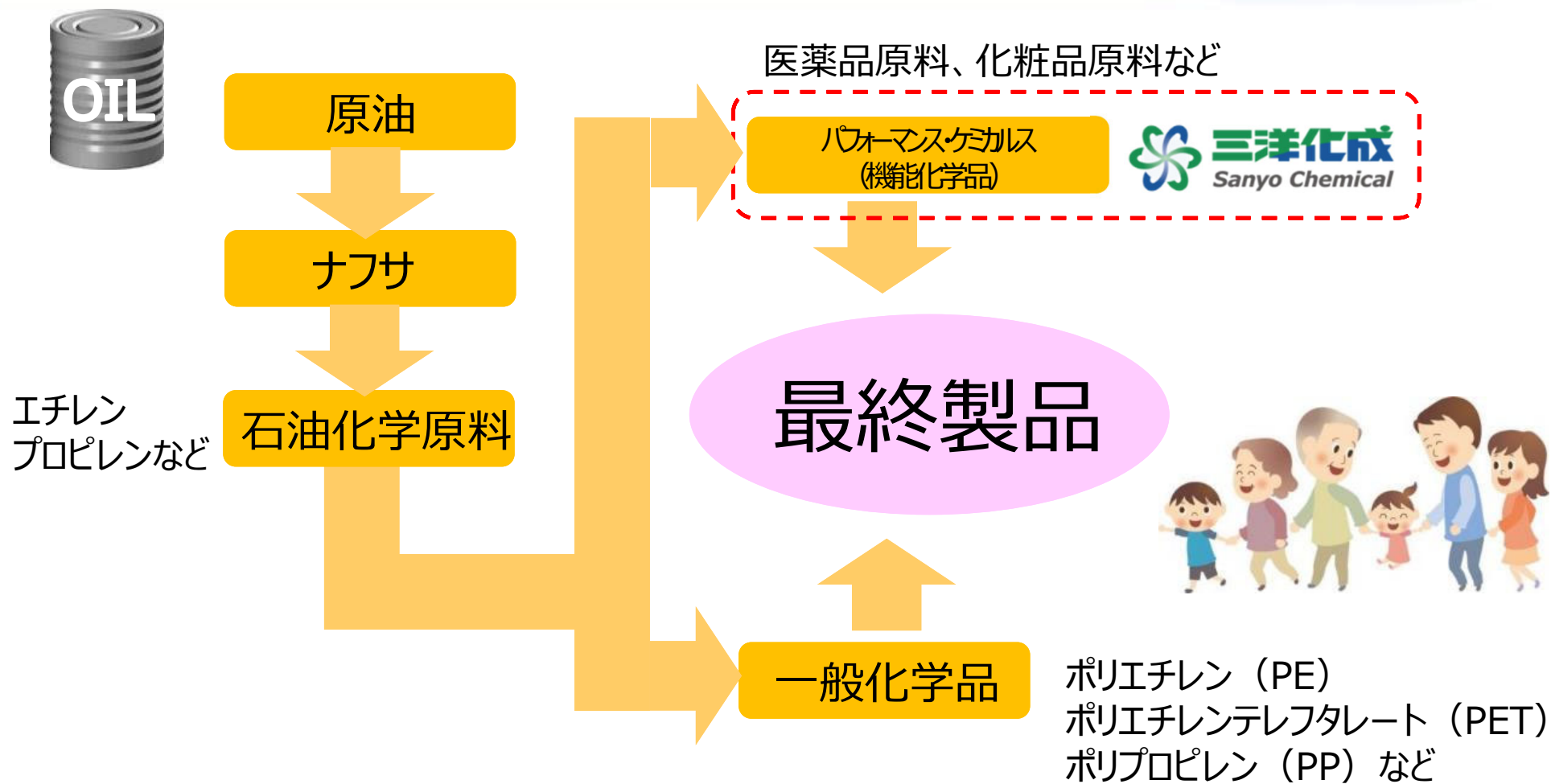


 台灣三洋化成股份有限公司

 Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



# サプライチェーン内での位置づけ



# 三洋化成のパフォーマンス・ケミカルス



- 組成（何でできているか）ではなく、機能・性能（何が出来るか）で利用される化学品
- 末端商品はなく、ユーザーでさらに加工される（B to B企業）
- 自動車、繊維、トイレタリー、電気・電子、樹脂など多くの産業で活躍
- 地球環境に配慮した製品開発



## 1-2. 三洋化成の社風

## -社是-

企業を通じてよりよい社会を建設しよう

## -目指す企業像-

グローバルに、ユニークな優良企業グループへ

優良企業・・・ 「経済的要素」や「社会的要素」のみでなく  
従業員の「働きがい」や「誇り」「幸せ」が重要

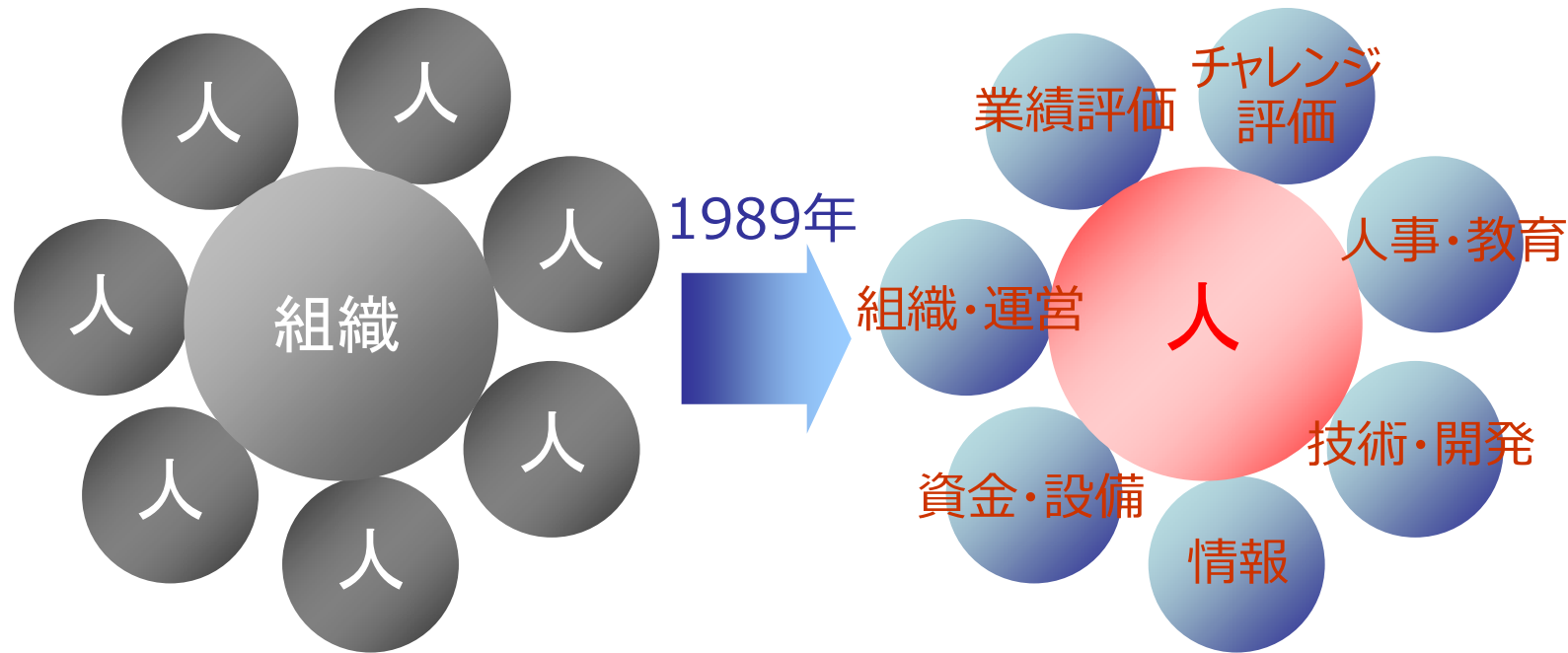
“人”中心の経営

研究開発重視



# 三洋化成の“人”中心の経営

組織中心の経営システムから、“人”中心の経営システムへ



組織の周りに人を配置

組織に規制され、  
“働きがい”を追究しにくい

人の周りに手段を配置

自分の判断で行動し、  
“働きがい”を追求できる  
(有言実行が原則)

# 人事制度・風土改革



2018年8月～

1年365日、**完全服装自由化**を導入。ドレスコードも一切設定なし。  
従業員一人ひとりが各自の判断で自由な服装を着用

TOP自らが率先して服装自由化を取り入れ、働き方改革への本気度を  
示すとともに、従業員へ「**変える。**」意識の浸透を図る



**まずはやってみること！**  
**ダメなら戻せばいい、出来ないと思っ**  
**ていては絶対にできない**

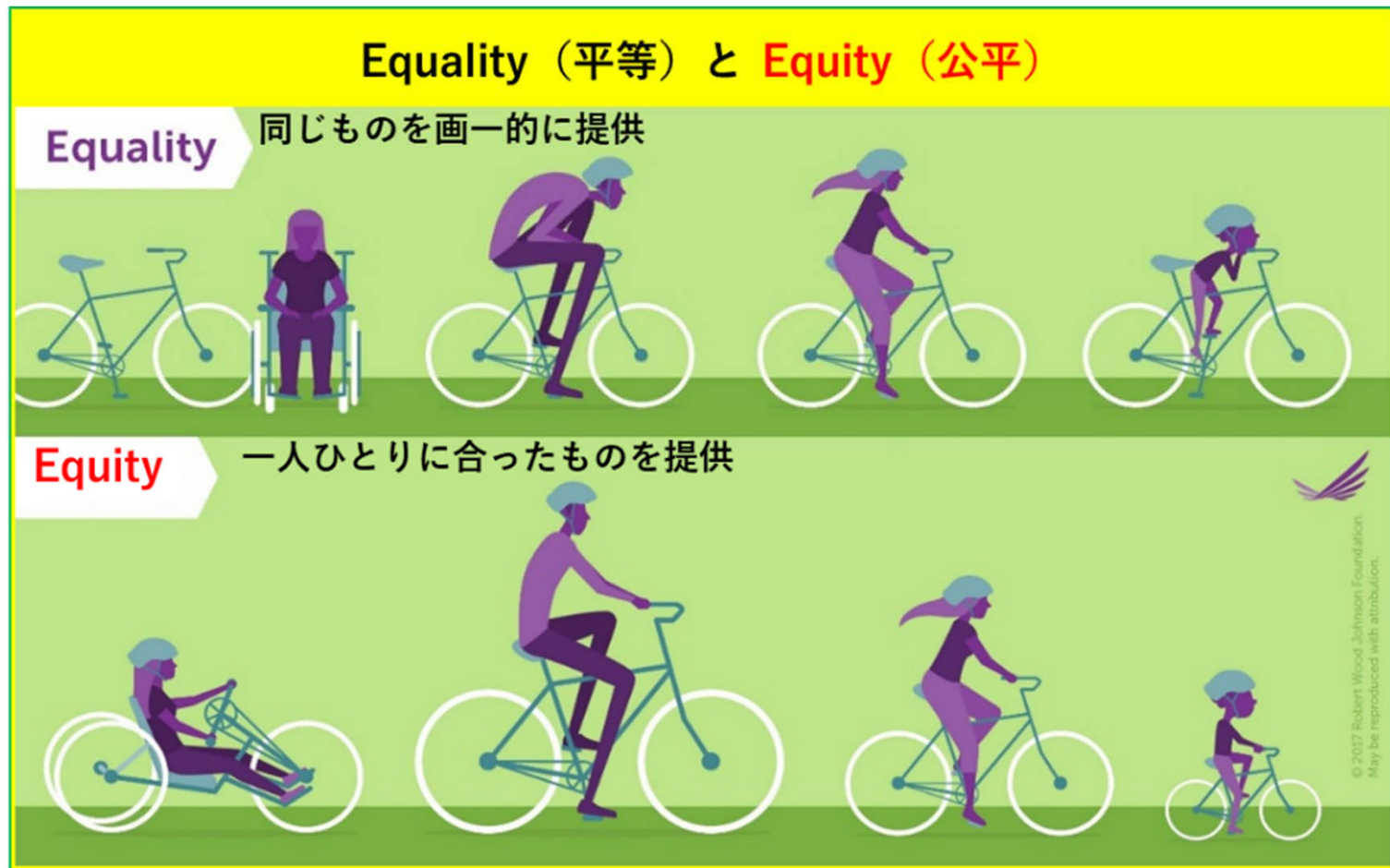




# 三洋化成のDEI(Diversity, Equity & Inclusion)



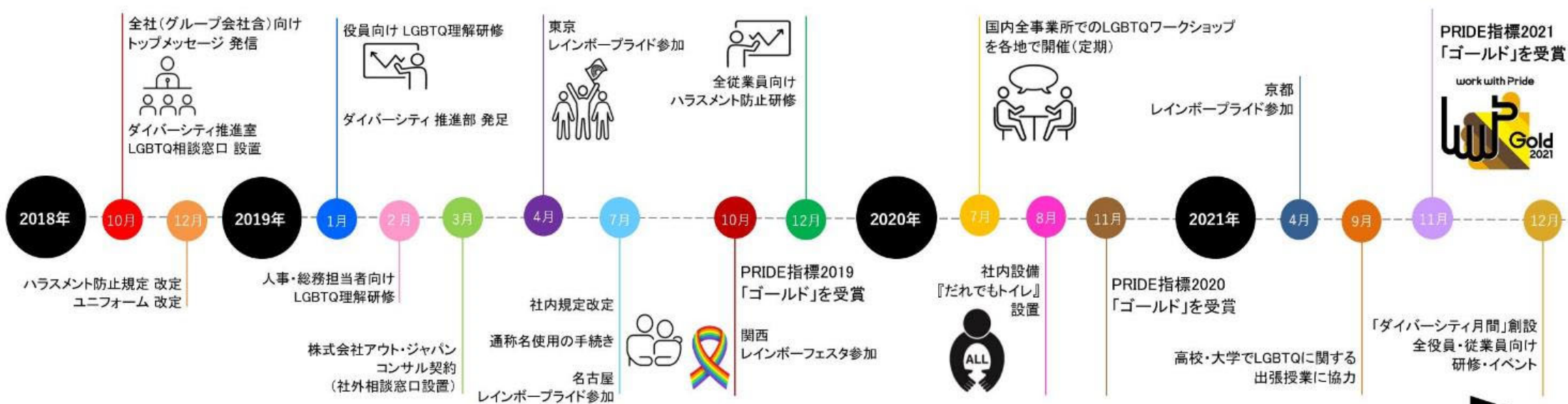
「自分らしさを大切に」を実現させるEquity（公平）の観点を加えたDEI推進をより一層加速



# LGBTQへの取り組み



10人に1人はLGBTQである事実(左利き・血液型AB型の人と同程度)  
グループ社員約2,000名。すなわち...



●全社へ情報提供(ダイバーシティ通信、ダイバーシティNEWS)

●ALLY活動への理解・浸透

LGBTQに関する理解の促進を進め、多様な価値観を尊重する  
環境づくりを推進

# 女性活躍推進



1 管理職向け部下育成セミナー

2 女性ネットワークセミナー  
自分のキャリアデザインを考える

3 21世紀職業財団主催の塾・セミナー  
社内公募で選抜された女性社員が塾やセミナーに参加

4 他社女性社員との意見交換・交流会  
異業種の女性社員との意見交換・交流会

5 育休復職者支援セミナー  
子育てと両立しながらキャリア形成、社内ネットワークづくり、「目指す姿」を考える

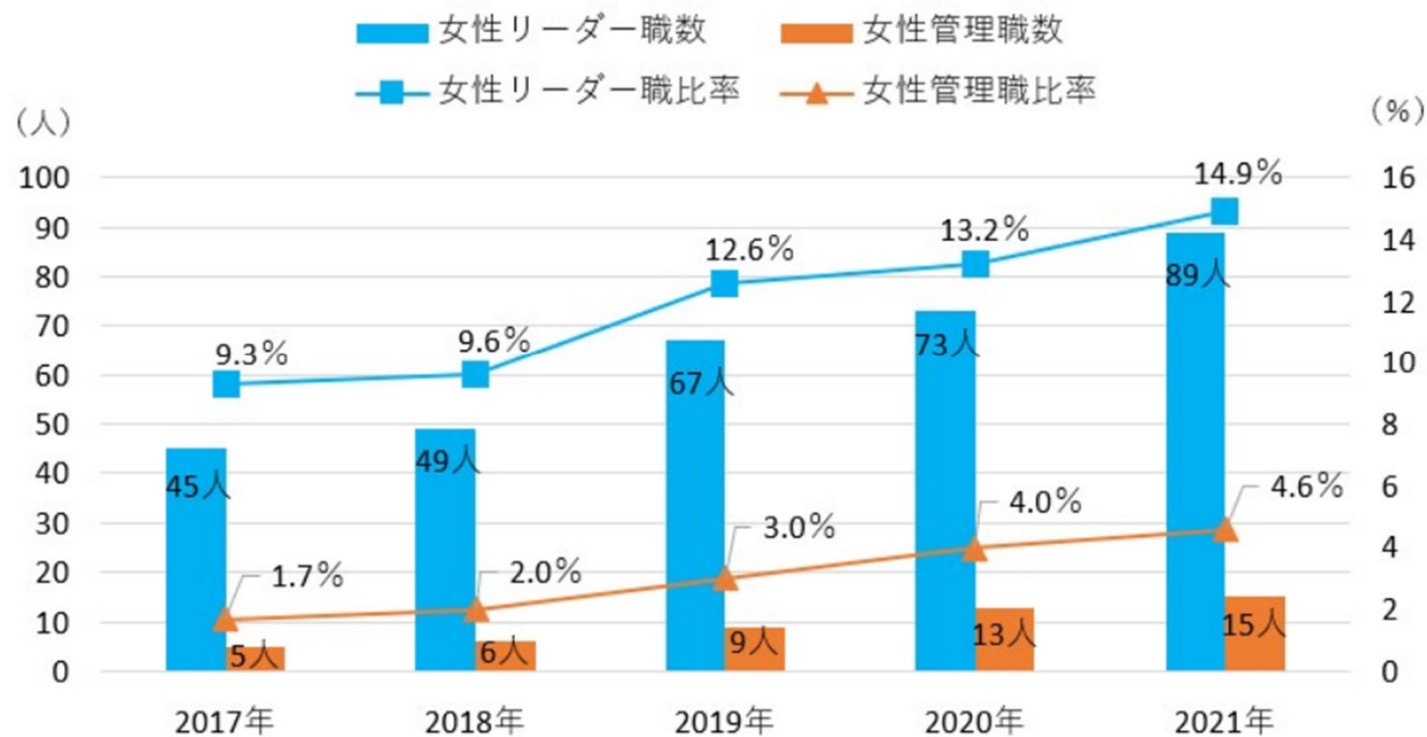
6 育休前・復職前面談

7 社長と女性社員の昼食会

8 職域拡大（計画的ローテーション）



# 女性リーダー職数と管理職者数



**2023年度までに女性リーダー職比率を15%以上、女性管理職比率を6%以上に増やす**

## 2. 三洋化成の業績



## 2-1. 三洋化成の業績

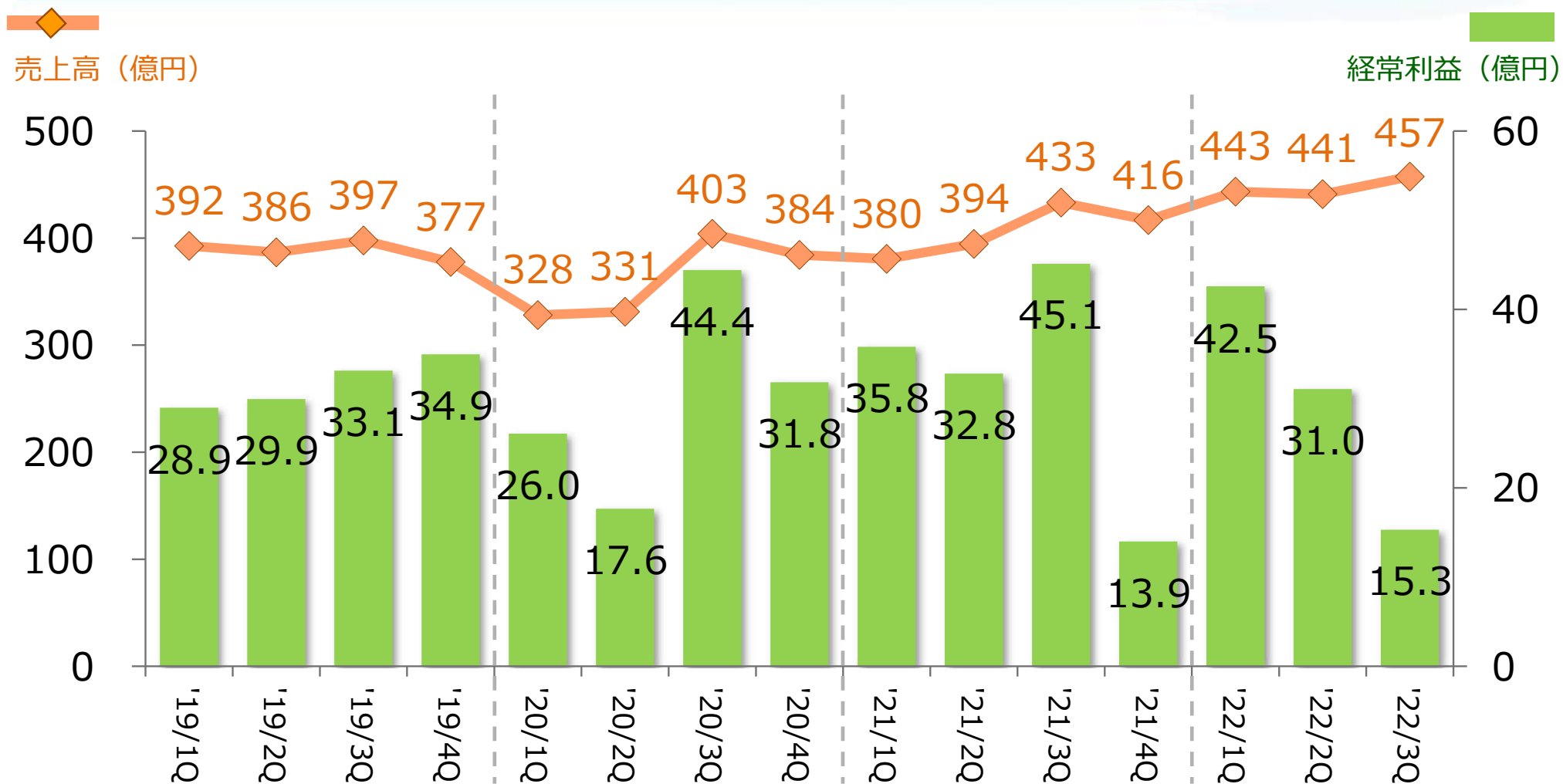
# 2023年3月期第3四半期決算



(億円, %)

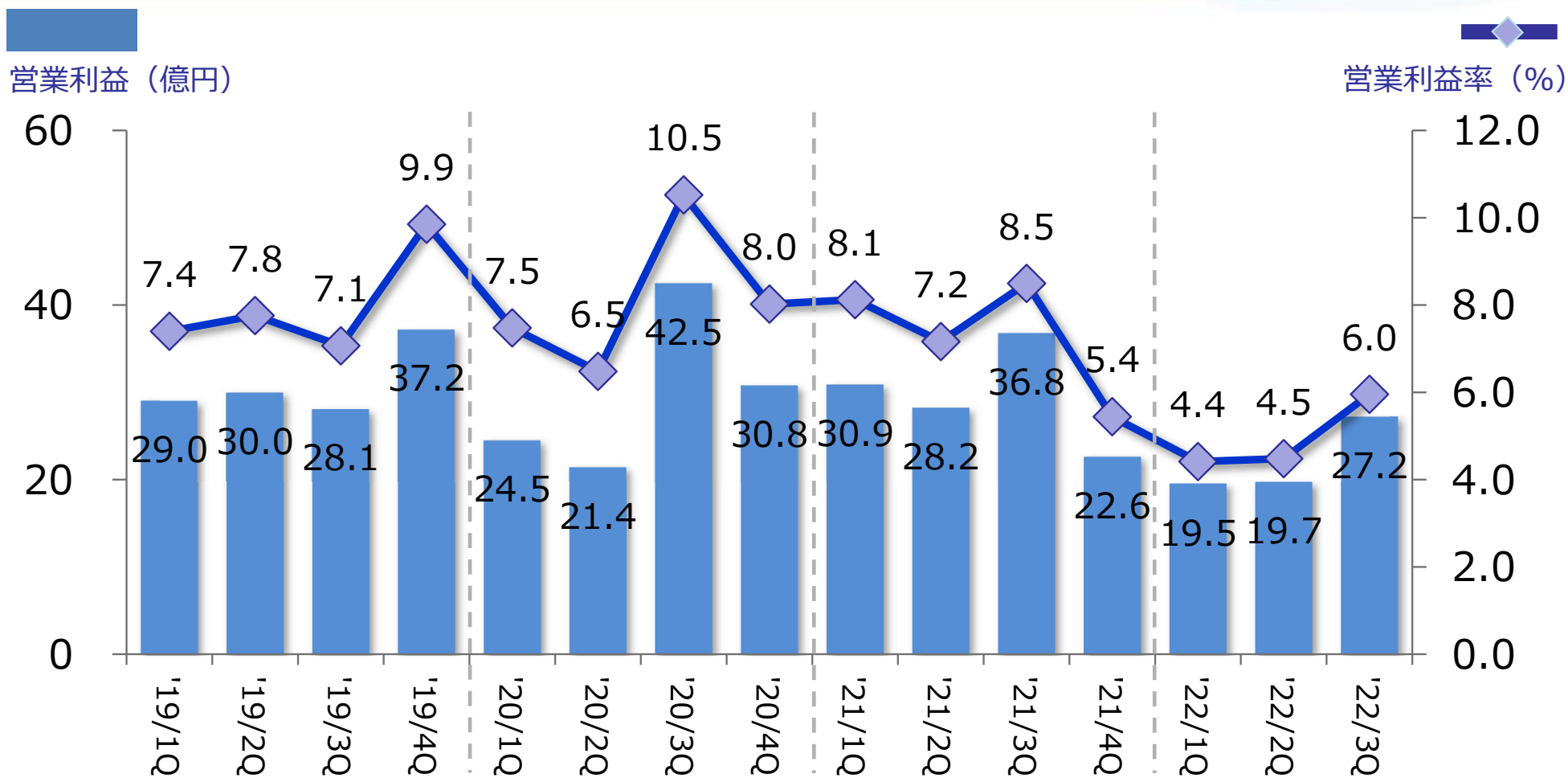
連結	'22年3月期 第3四半期	'23年3月期 第3四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,208.4	1,341.8	133.3	11
営業利益	96.0	66.5	▲29.4	▲31
経常利益	113.7	88.9	▲24.7	▲22
親会社株主に帰属する 四半期純利益	75.0	62.8	▲12.1	▲16
包括利益	79.2	65.5	▲13.7	▲17

# 連結業績の推移(四半期)





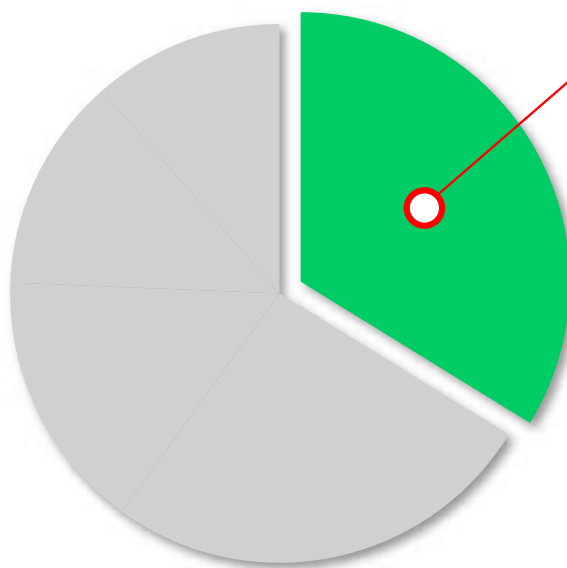
# 連結営業利益(同率)の推移(四半期)



# 生活・健康産業関連



シャンプー・リンス、液体洗剤用原料：界面活性剤ビジネス、創業以来のコアビジネス  
高吸水性樹脂：1978年、世界初の商業生産（紙おむつの製造に不可欠）



## 生活・健康産業関連

連結売上高

**549億円**

2022年3月期（2021年度）

# 石油・輸送機産業関連

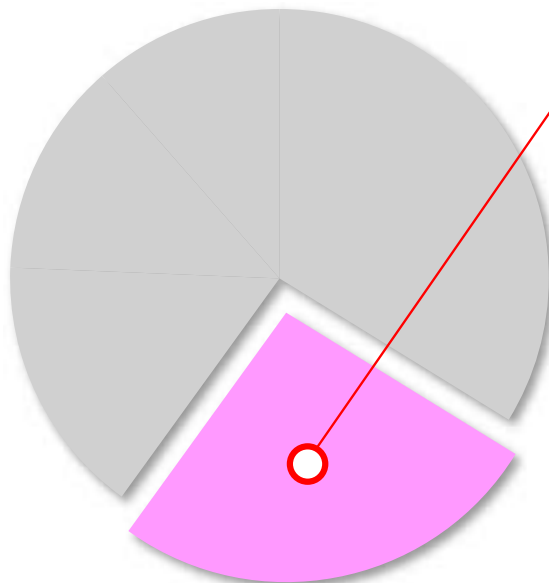
自動車用途中心のセグメント：自動車シート material となるポリウレタンフォーム用原料  
自動車潤滑油用添加剤（粘度指数向上剤）  
自動車内装表皮材用ウレタンビーズなど

## 石油・輸送機産業関連

連結売上高

**425億円**

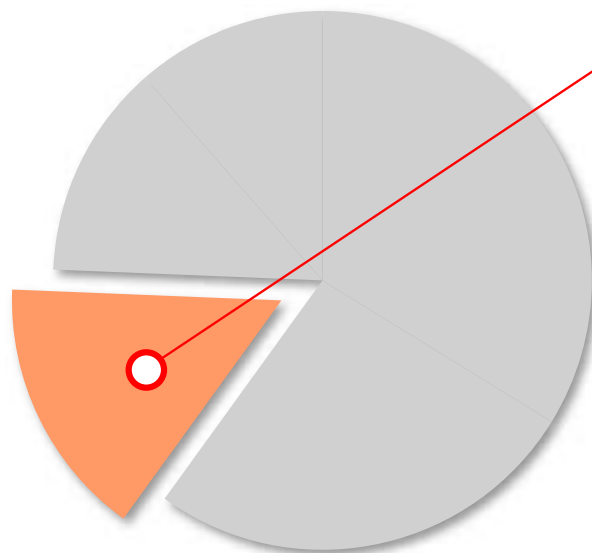
2022年3月期（2021年度）



# プラスチック・繊維産業関連



プラスチック製品の価値を付与：半永久的に効果が持続する永久帯電防止剤など  
様々な繊維に使用される薬剤：炭素繊維（風力発電の風車など）用薬剤など



## プラスチック・繊維産業関連

連結売上高

**254億円**

2022年3月期（2021年度）

# 情報・電気電子産業関連



情報産業用薬剤：複写機やプリンターの発色部に使用される薬剤

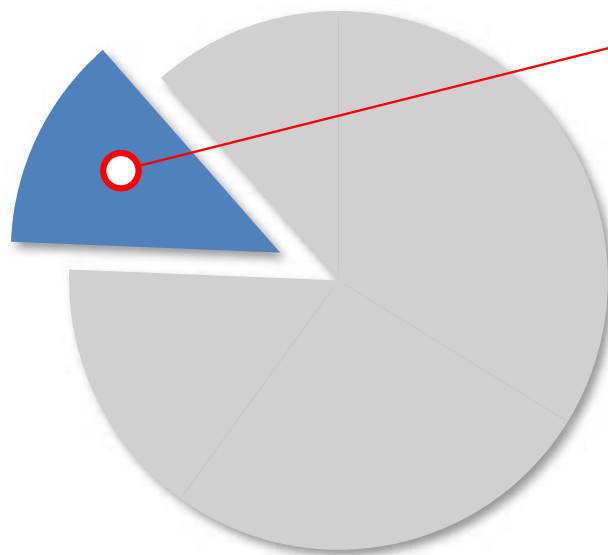
電気電子産業用薬剤：アルミ電解コンデンサ用電解液（自動車、家電、パソコン）など

## 情報・電気電子産業関連

連結売上高

**209億円**

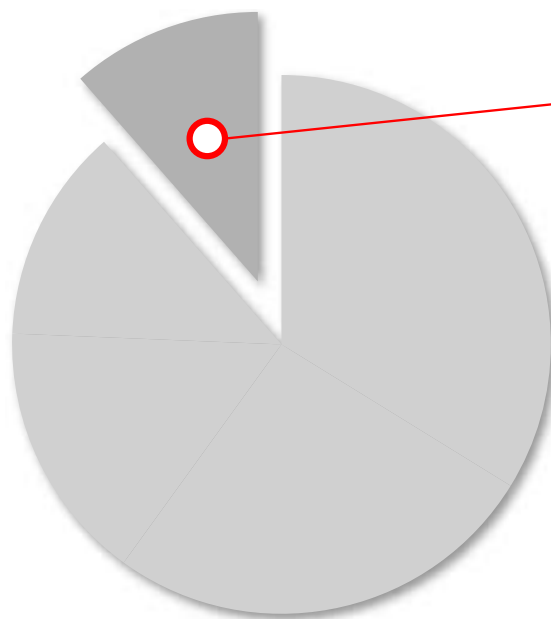
2022年3月期（2021年度）



# 環境・住設産業関連他



環境産業：高分子凝集剤用原料（産業廃水の浄化）、地中掘削用薬剤  
住設産業：家具・断熱材などに使用されるポリウレタンフォーム用原料など



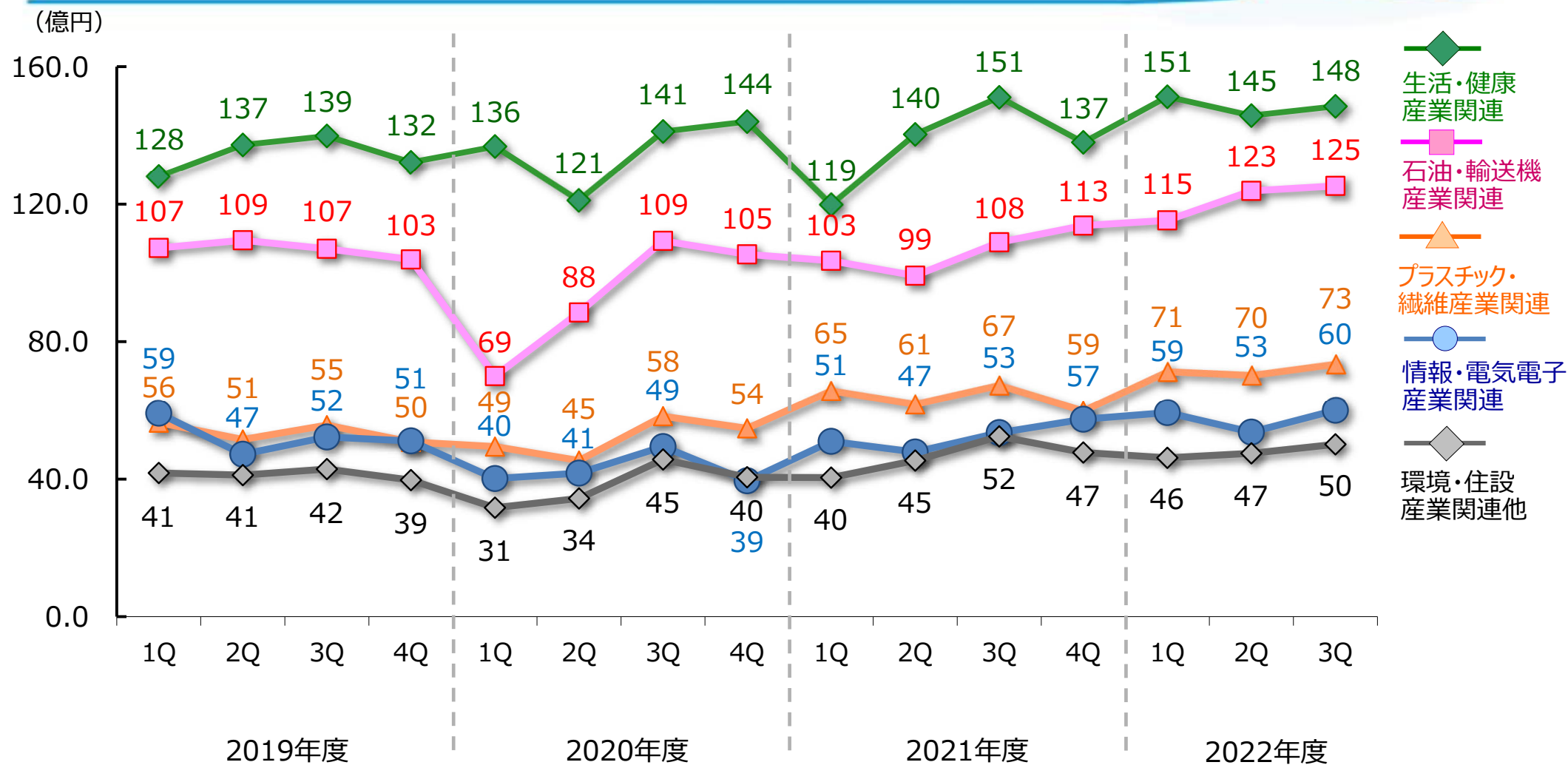
## 環境・住設産業関連他

連結売上高

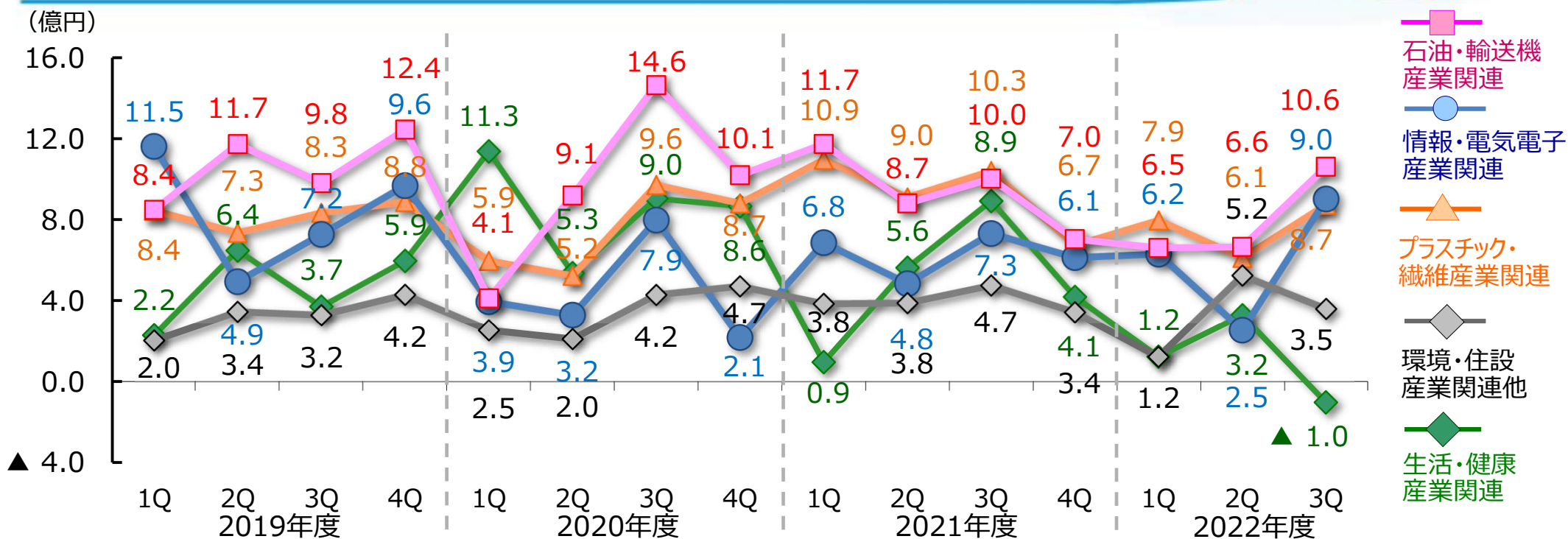
**186億円**

2022年3月期（2021年度）

# 連結産業分野別売上高の推移(四半期)



# 連結産業分野別営業利益の推移(四半期)



新規事業に係る研究開発費 (億円) \*

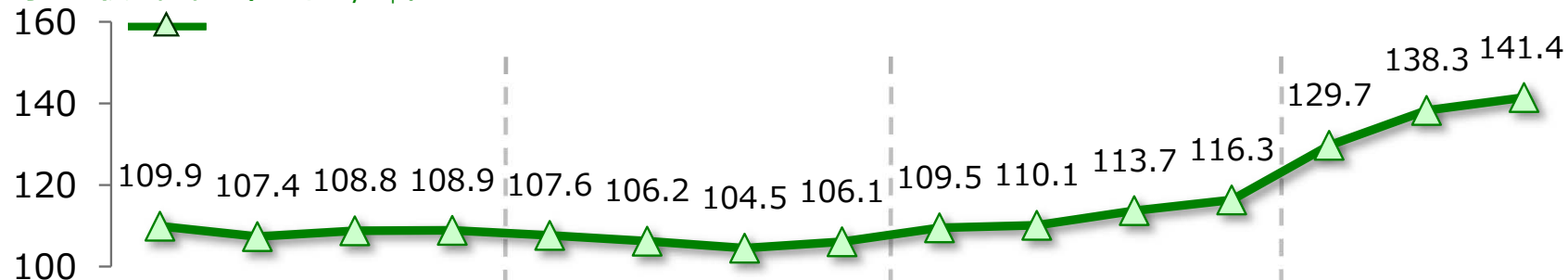
'20年3月期				'21年3月期				'22年3月期				'23年3月期		
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
▲3.7	▲3.9	▲4.2	▲3.9	▲3.3	▲3.6	▲3.1	▲3.6	▲3.4	▲3.9	▲4.5	▲4.8	▲3.7	▲4.0	▲3.6

\* 従来各報告セグメントに配分しておりました新規事業に係る研究開発費を全社費用として計上し、欄外に記載しております。

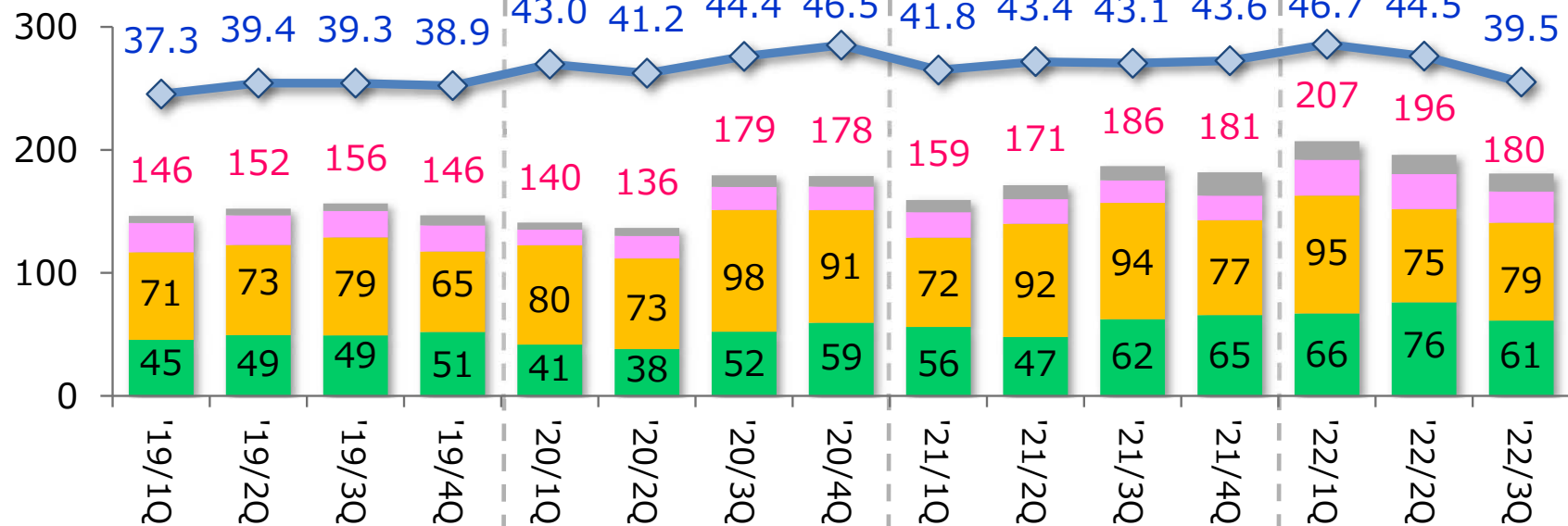


# 海外売上高の推移(四半期)

為替 (期中平均) (円 / \$)



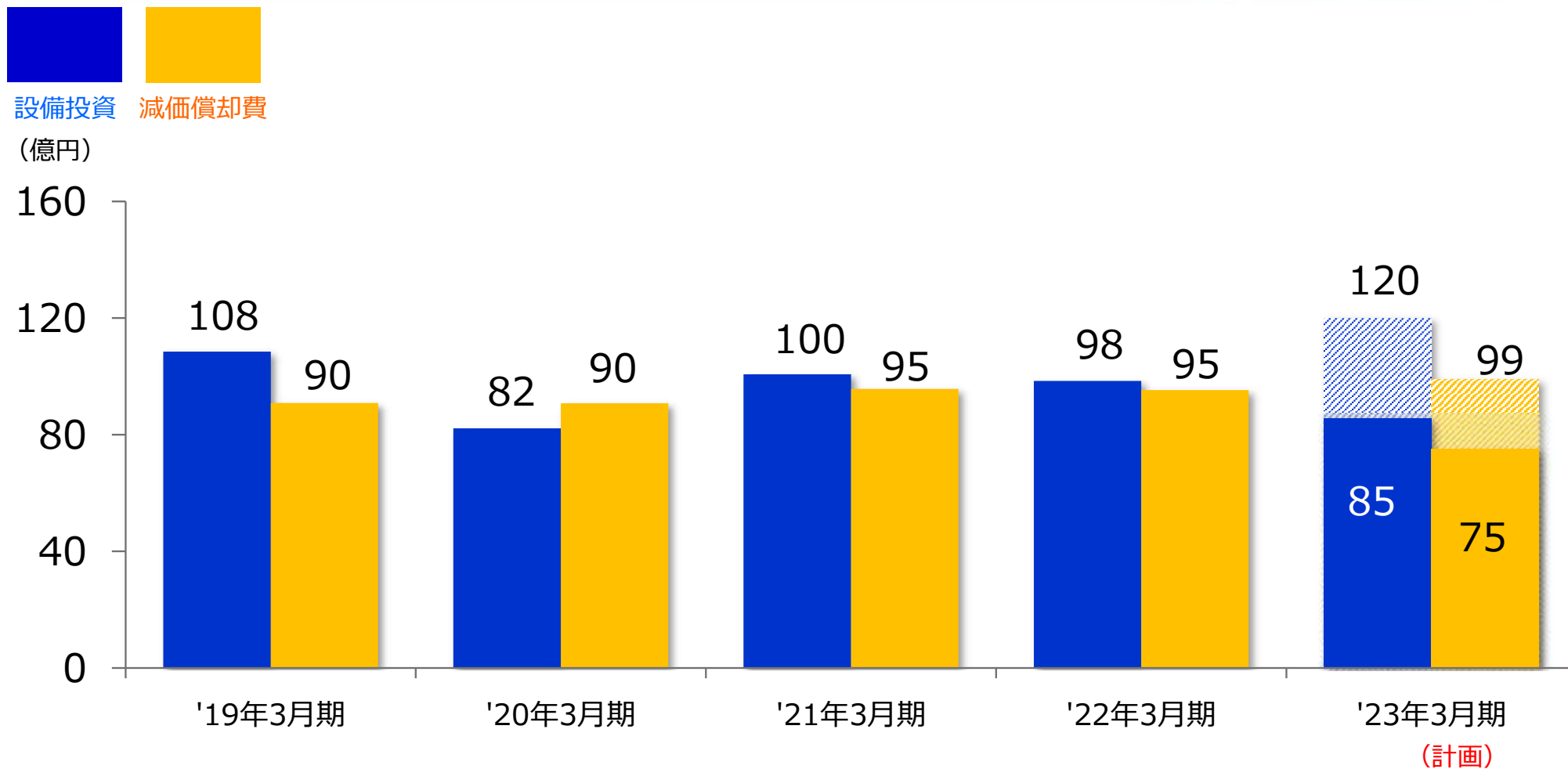
売上高 (億円)



海外売上高比率 (%)



# 設備投資と減価償却(連結)

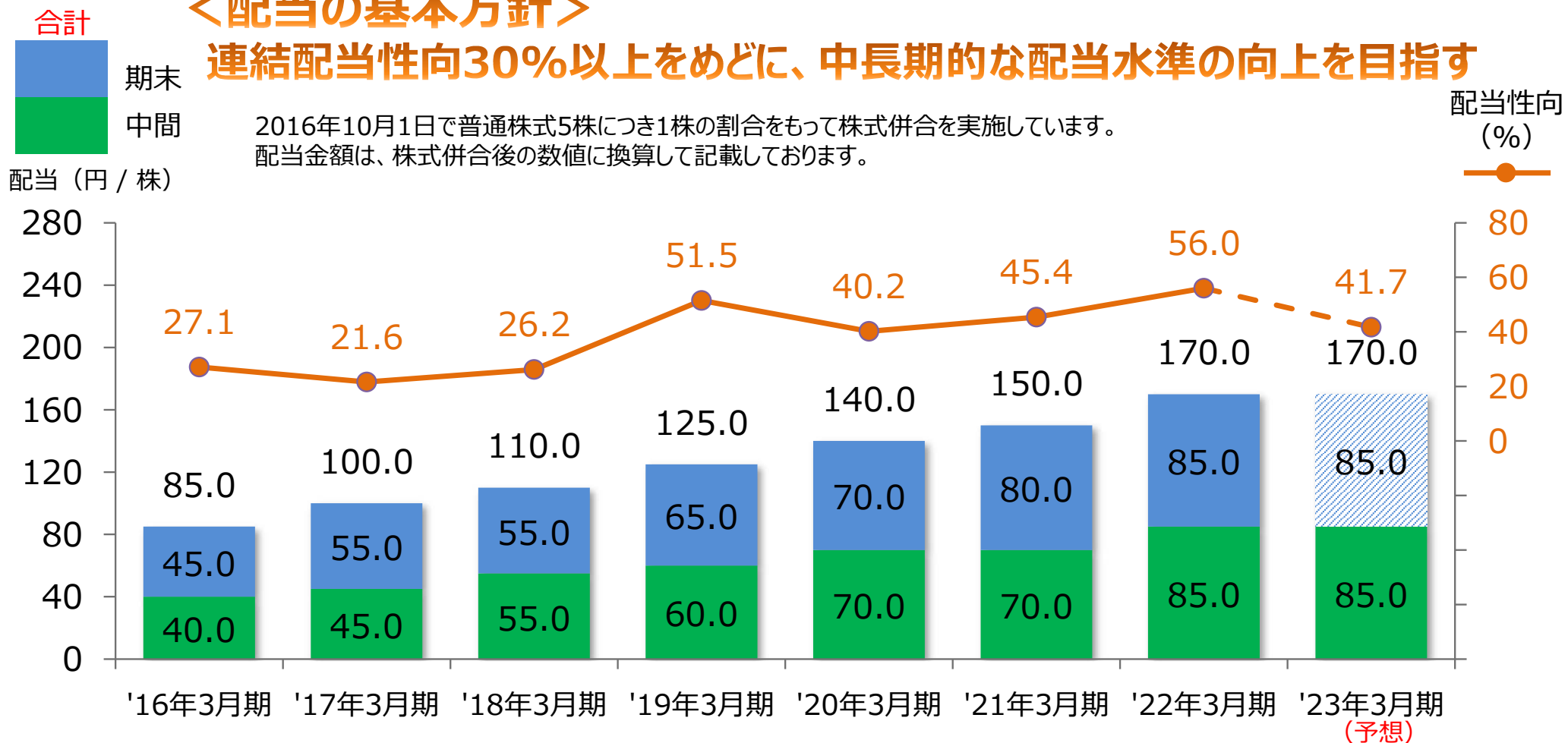


# 1株当たり配当と連結配当性向の推移

## <配当の基本方針>

**連結配当性向30%以上をめどに、中長期的な配当水準の向上を目指す**

2016年10月1日で普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しています。  
配当金額は、株式併合後の数値に換算して記載しております。



## 2-2. 三洋化成のありたい姿

# 三洋化成のありたい姿(Vision)

全従業員が誇りをもち、働きがいを感じる  
グローバルでユニークな高収益企業に成長する



多様な一人ひとりの新しい発想を源泉に、  
当社と全ステークホルダーの「ちから」を掛け合わせ、  
スピード感ある挑戦を実行し続けることで化学の枠を越えてイノベーションを起こす

# 三洋化成のありたい姿(Mission, Values)



## 社是「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」

実現したい社会

- ・環境と調和した循環型社会
- ・健康・安心にさせる社会
- ・一人ひとりがかがやく社会

Sanyoの貢献

環境を支える

カーボンニュートラルへの貢献

人と暮らしを支える

QOLの向上

多様性を支える

働きがいの向上

大切にすること  
(Values)

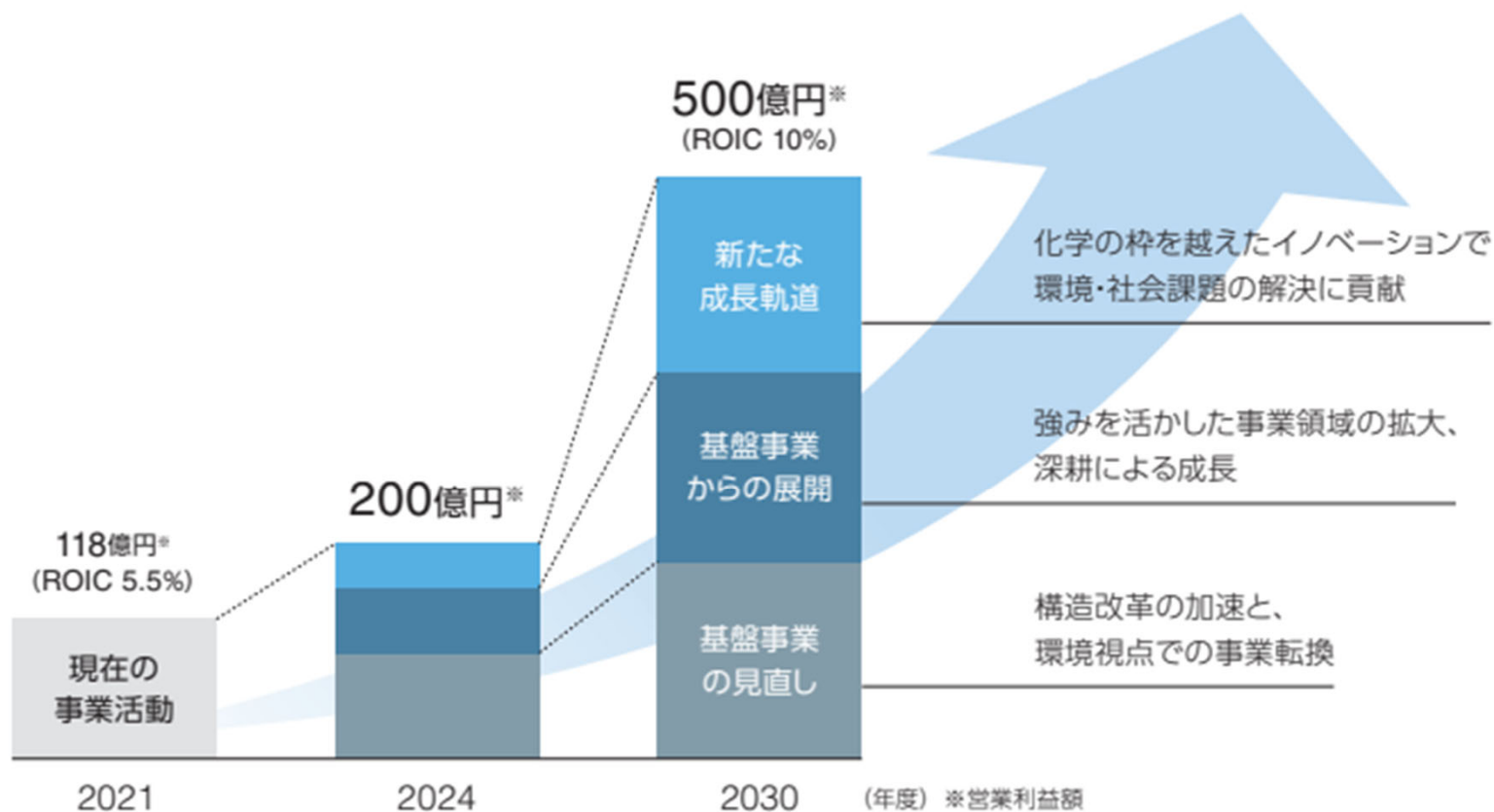
- ・すべてのステークホルダーのワクワク
- ・環境・社会的価値と経済価値をステークホルダーと共創\*
- ・社員一人ひとりが価値の創出に貢献

\*) 共創：全ステークホルダーと共に価値を築き上げていく

# 2030年のありたい姿へ

Vision

全従業員が誇りを持ち、  
働きがいを感じるグローバルで  
ユニークな高収益企業に成長する



# 2030年のありたい姿へ

新たな  
成長軌道

## 将来の成長を担う新規事業

三洋化成の化学技術を駆使し  
新たな素材を提供する分野

基盤事業  
からの展開

## 現在の利益を牽引する基盤事業

高利益製品群の能力増強  
サプライチェーン全体での生産効率UPなど  
“ものづくり大改革”を進める分野

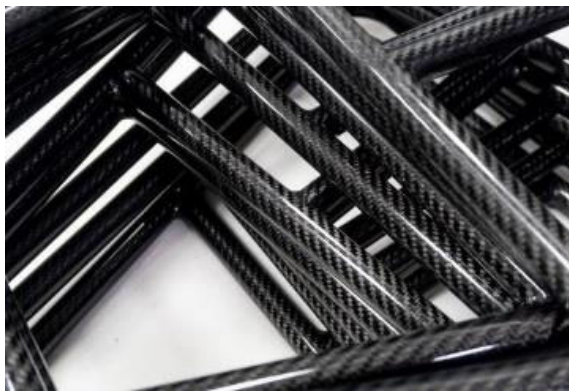
基盤事業  
の見直し

**新規事業と基盤事業、両輪で成長する会社へ  
その中心には、WakuWaku経営**



## 2-3. 基盤事業について

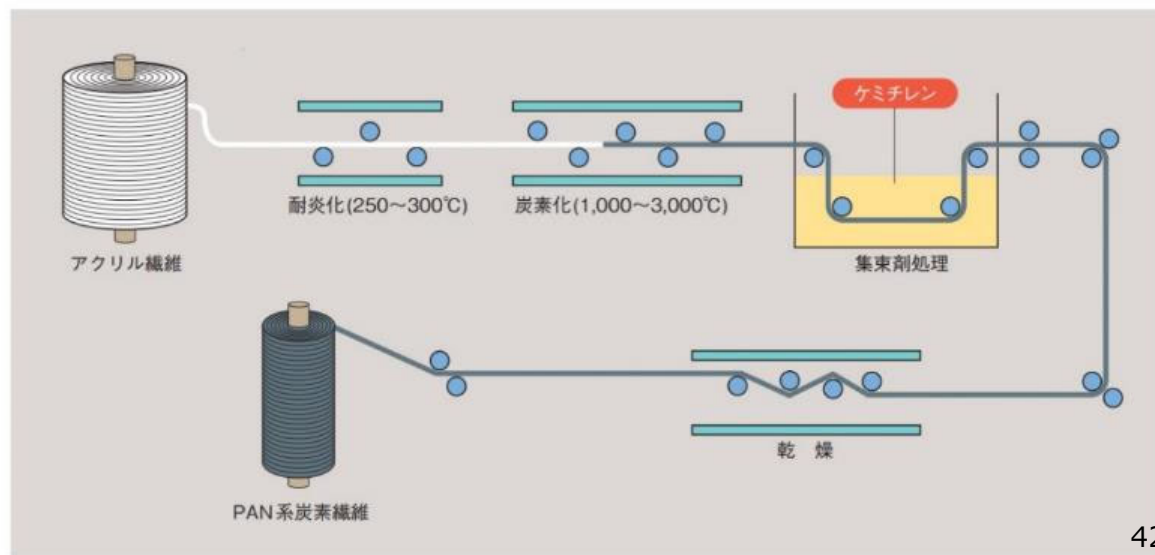
# 炭素繊維集束剤『ケミチレン』



炭素繊維製造工程で使用される。  
近年、再生可能エネルギー需要の高まりから風力発電用に  
炭素繊維は多く使用され、ケミチレンの需要も高まっている

投資金額約7億円、2024年5月稼働  
予定で、現在の生産能力から5割程度  
の能力増強

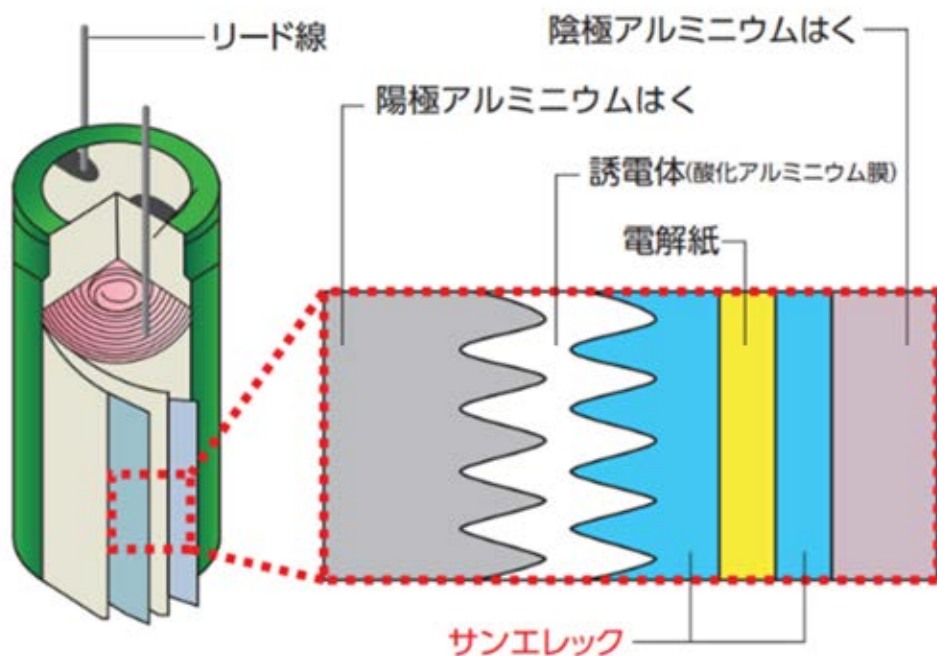
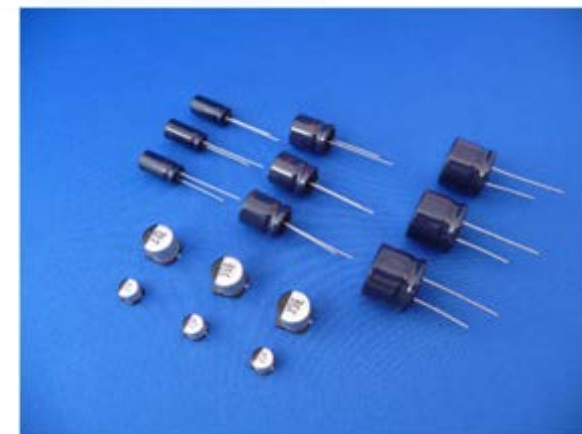
2030年には、現在の売上高を2倍程度  
まで引き上げる



# アルミ電解コンデンサ用電解液『サンエレック』

独自開発したアミジン化合物を用いた電解液

- ・イオンの移動速度を保持、発生アルカリを中和し無害化。
- ・コンデンサ業界最大の課題であった液漏れを克服



自動車の電装化、EVの拡大等コンデンサ需要の急激な増加への対応

- ①2023年5月稼働予定  
投資金額約4億円：3割程度の能力増強
- ②2025年3月稼働予定  
投資金額約5億円：3割程度の能力増強

# 永久帯電防止剤『ペレスタット』『ペレクトロン』



電子機器・精密部品の包装・搬送材料用途での需要拡大  
新たな用途展開

タイの関係会社サンヨーカセイ（タイランド）リミテッドでの新製造  
設備を稼働

総投資額：34億円

生産能力：1,500トン/年

（日本、タイの合計生産能力は4,700トン/年）

サンヨーカセイ（タイランド）リミテッド  
の新プラント



**三洋化成が得意とする界面制御技術により、  
ニッチで高付加価値製品である既存事業の利益拡大へ**

# 体外診断用医薬品『Accuraseed®』



## 富士フイルムと『富士フイルム三洋化成ヘルスケア株式会社』を設立

2022年6月設立、10月から体外診断用医薬品の製造を開始  
(富士フイルム51%、三洋化成49%)

自動化学発光酵素免疫分析装置  
『Accuraseed®』の専用試薬を製造



富士フイルム和光純薬と三洋化成が有する設備・人材・製造ノウハウを  
組み合わせ高い生産を実現し、富士フイルムの販売力で事業拡大させる

－富士フイルム三洋化成ヘルスケアの概要－

所在地：三重県三重郡菰野町

代表者：岡田 美広

資本金：1億円（出資比率 富士フイルム51%、三洋化成49%）

設立日：2022年6月17日

## 2-4. 新規事業について

# APB(全樹脂電池)事業の状況

全樹脂電池向け被覆活物質

APB株式会社にて運営・事業化を目指している全樹脂電池

 **APB**



## 全樹脂電池事業に関する三洋化成の役割

**APB株式会社：全樹脂電池の事業運営、量産化等の経営**

**三洋化成：キーマテリアル（被覆活物質）の供給に専念し、  
性能強化に貢献**

# APB(全樹脂電池)事業の状況



**三洋化成が保有するAPB株式の一部をTRIPLE-1へ譲渡  
(保有比率44.2%→10.0%へ)**

開発フェーズでは、APB経営リソースが十分では無かったことから  
APBの経営支援をしつつ、全樹脂電池の開発をサポート



量産フェーズに入り、三洋化成はキーマテリアルである**被覆活物質  
の開発供給体制確立に専念**

APBとしては、将来的な事業成長のための**新たなパートナー企業  
との連携を模索**

**今回、APBからの申し入れがあり、TRIPLE-1に株式を一部譲渡**



## 界面制御技術をコアテクノロジーとした新素材開発を多角的に検討

- ・全樹脂電池用被覆活物質
- ・リチウムイオン電池用添加剤の市場展開
- ・**リチウムイオン電池用有機正極材料の開発**  
他社との協業で、正極部材を無機物から有機物にすることで、さらなる軽量化を図る

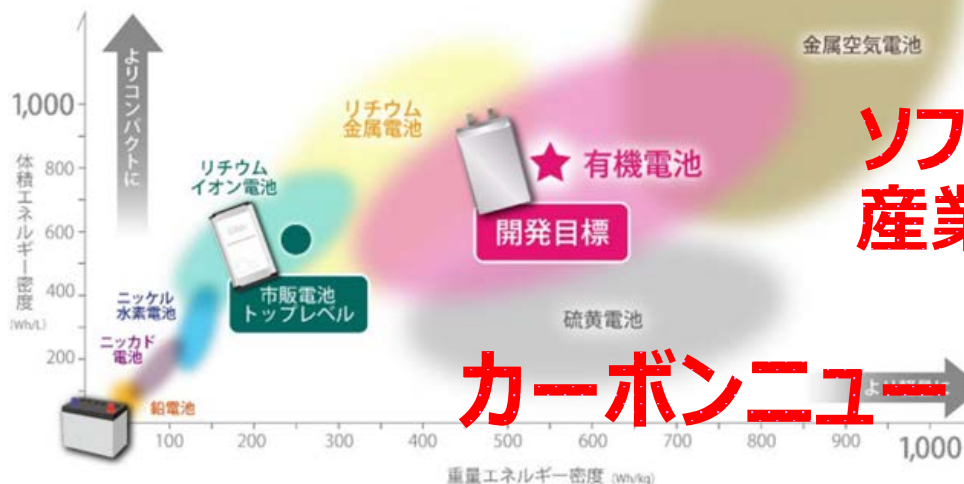
コアテクノロジーが活かせる分野に“選択と集中”し  
当社の利益の中心となる事業に成長させる

# 電池関連事業(有機正極二次電池)



## 防衛装備庁「安全保障技術研究推進制度」 令和4年度新規採択研究課題に採択

現行のリチウムイオン電池より大幅に軽量化が可能な有機正極二次電池に着目し、充放電機構の解明などに取り組み、長時間の滞空可能な無人航空機などへの活用を推進



ソフトバンク、ORLIB、日本ケミコン、  
産業技術総合研究所らとともに研究

カーボンニュートラルな社会の実現に貢献を

# 匂いセンサーの開発



独自設計の検出素子

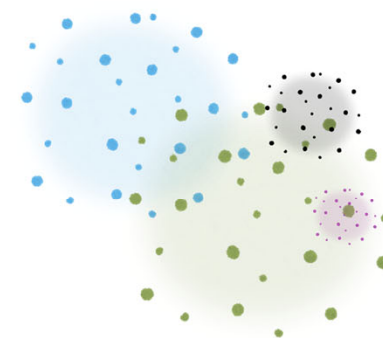


データ解析



検出素子

複雑なにおい



”化学のチカラで、人間の鼻をつくる”

# 匂いセンサーの開発

食品

農業

環境

医療

生活

研究



モニタリング

排気監視  
悪臭対策支援  
疾病早期発見



品質管理

製品規格  
発酵、醸造  
廃水管理



官能評価代替

日本酒の醸造管理



製品PR

製品の特長表現



# アグリ/ペプチド農業～実証試験と開発～



ペプチド散布区



ペプチド散布なし

**葉の色が濃い（色素が多い）**

**色素は光の吸収やエネルギー変換の役割  
=きゅうりの成長や着果の促進効果が期待できる**

# アグリ/ペプチド農業～実証試験と開発～



増加する世界人口と限りある農地  
**効率的な食糧生産**が農業の未来を支える



「ペプチド農業」

ペプチド：環境にやさしく植物にとって必要な成分で、高収量や機能性成分向上など様々な効果が期待される！



宮崎県新富町と  
連携協定を締結



新富町にて第1,2期圃場試験を完了  
**ペプチド投与による増収効果を確認**  
その他の効能についても検証中



# ウッドレザーの開発



サンプロコ（当社子会社）が  
ウッドデザイン賞2022（技術分野）  
奨励賞を受賞！



ビーガンレザーの一種で、木粉を50%以上含有。  
バイオポリウレタン樹脂を併用し、バイオマス比率は  
80%を超える

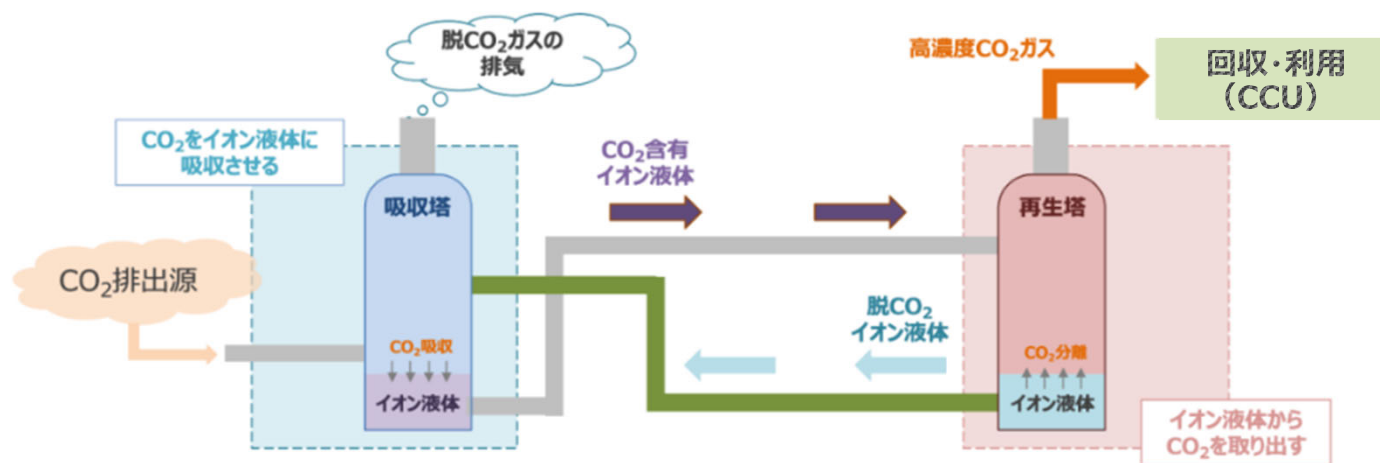
**木の香りのするビーガンレザー  
エコで、エシカルな新素材**



# 二酸化炭素の回収・利用(CCU)素材の開発

CCU : **C**arbon dioxide **C**apture, **U**talization  
～CO<sub>2</sub>回収・利用～

CO<sub>2</sub>ガス吸収の仕組み



**アルミ電解コンデンサ用電解液に用いるイオン液体を応用し、CCUの効率的なシステムへの活用を検討**  
**カーボンニュートラルな社会の実現に向け、検討を加速！**

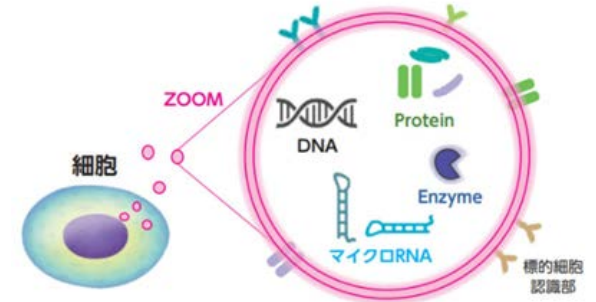


# エクソソーム精製技術『EXSOPTION®』の開発

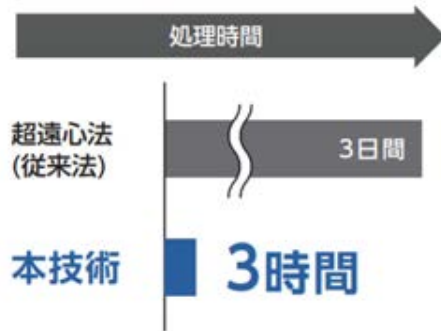


エクソソーム：次世代医療分野で世界的に注目されている  
細胞間シグナル物質

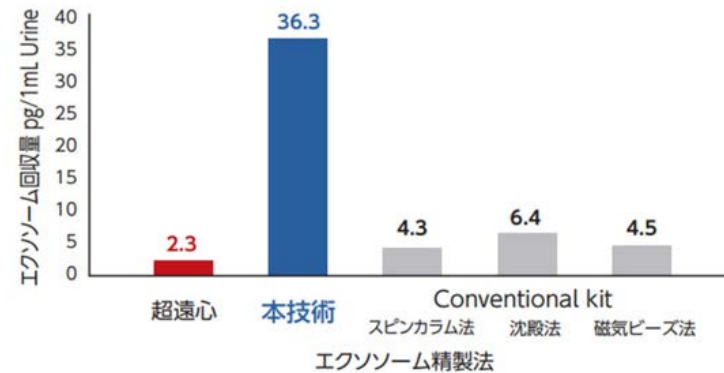
三洋化成独自の**ハイドロゲル精密合成技術**による  
ハイドロゲルビーズにより、高効率にエクソソームを  
分離精製



## 精製時間の短縮



## 回収量の向上



高効率精製技術の確立により、エクソソームを用いた様々な疾患の診断、治療  
および再生医療での開発を加速させ、生活の質（QOL）の向上へ貢献

# 化学のちからで 化学の枠を越える。

引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

